

**アフガニスタン・イスタリフ村から若手陶工が来日研修しました
報告会のお知らせ**

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は12月1日（月）より12月20日（土）までの20日間、アフガニスタン・イスタリフ村から陶工2名を日本に招へいしています。

日本で新たな陶芸技術を習得する機会を提供し、また日本の陶芸家及び地場産業として窯業・陶芸に取り組む人々とのネットワークを構築することにより、陶芸面での日本-アフガニスタン協力関係の基礎を築くことを目的とした、この事業の報告会を行います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日時： 12月19日（金）15：00～

会場： 国際交流基金（ジャパンファウンデーション）
JFICスペース「けやき」
東京都新宿区四谷4-4-1
（最寄駅：東京メトロ「四谷三丁目」1番出口）

報告者： Noor Ahmad s/o Abdul Samad 氏（研修参加者）（ヌールーさん 26歳）
Abdul Mtin s/o Abdul Salam 氏（研修参加者）（マティンさん 23歳）
永岡泰則氏（指導者 / 李朝陶磁家）
白潟八洲彦氏（指導者 / 砥部焼八瑞窯伝統工芸師）

研修参加者が本研修で作成した作品も展示されます。取材歓迎いたします。

* 李朝陶磁家の永岡泰則氏工房での窯製作実習、青木益枝氏工房での土岐の蹴りろくろ実習、滋賀県立陶芸の森（砥部焼八瑞窯 伝統工芸師 白潟八洲彦氏）での石膏を使用した成型他研修を中心として、愛知県立窯業高等技術専門学校訪問、瑞浪窯業技術研究所訪問などを行いました。

参加をご希望される方は、事前にメールもしくはお電話にて、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ

文化事業部 文化企画課

（担当）加藤 雅元（Masayuki.Kato@jpf.go.jp） 久松（Emiko.Hisamatsu@jpf.go.jp）

TEL：（03）5369-6059 FAX：（03）5369-6036